

“定年 28 号” 愛知から東北へ (3)

中野 明

2012 年 4 月 22 日(日)、岩沼市文化会館駐車場で目が覚めました。昨日は岩沼市で念願のボランティア活動に参加することができましたが、次は一週間先です。今日はなにも予定がないので、岩沼の市内巡りをしました。海岸近くでは松林以外は何も残っていません、舗装道路の両側に、雑草が生い茂り建物の基礎だけが残っていましたが、遠くまで見通すことができ、それがかえって異様な気がしました。

4 月 23 日(月)、隣の亘理町のボランティアセンターに行きました。亘理町では、もうボランティアは募集していませんでしたが、今度、仮設住宅へのポスティング(チラシの配布)があるので良かったら手伝ってくれと言われました。体が空いていたら手伝いますと返事をして外へ出ると、東京のテレビ局がやってきて、インタビューをされてしまいました。

さらに、南隣の山元町のボランティアセンターにも行ってみました。山元町では毎日ではありませんが、まだボランティアを募集していました。町のボランティアセンターとは別に、すぐそばでボランティア団体が事務所を構えていて、そちらでボランティアの登録をしました。次の活動は、水曜日というので早速申し込みました。

それでその日の予定は終わってしまったので、先日のボランティア活動で、地元の人にイチオンで勧められた、大河原町と柴田町にまたがる「一目千本桜」を見に行きました。夕方になって、大河原町のある日帰り温泉に入り、湯上がりで一杯飲んで、夜はその駐車場で寝ました。

4 月 24 日(火)は、まったく予定がないので、角田市にある国の重要文化財の高蔵寺など、周辺を観光しました。夜は、山元町に戻り、役場の駐車場に泊りました。

4 月 25 日(水)、朝 8 時 10 分前にボランティアセンターへ行くと大型バスが止まっていて、神奈川からきたボランティアツアーの団体でした。私のような個別参加者は 10 名ほどで、山元町内のイチゴハウスに行きました。そこは津波被害を受けたものの、イチゴハウスは流されずに済みましたが、内部は荒れ果て草が伸び放題になっていました。県外からの参加者のほうが多く、東京から年配の夫婦や、若いカップルが来ていましたし、関西から来ている人もいました。

4 月 26 日(木)と 27 日(金)は、山元町の仮設住宅の集会所で手品をやりました。2 年ほど前から覚え始めたもので、ボランティアの受付の時にそんな話をしたら、集会所の集まりがあるからそのはじめにやるといいよ。と、仮設住宅の担当者に連絡をとってくれました。集まった人はどの集会所も 20 人ほどで、全く知らない人の前でやるのは初めてなので緊張しました。手順を忘れて失敗の連続でしたが、それが返って受けたりしました。20 分ほどでしたが、みなさん広い温かいところで見てもらえましてとても楽しくやることができました。

4月28日(土)、岩沼市に戻ってボランティアに参加しました。この日は、畑に被ったがれきの撤去でした。保管していたガラスが津波で流されて、畑はガラスだらけでした。普通の軍手では危ないので、皮の軍手を借りて根気よく取り除きました。

4月29日(日)、午後、山元町役場で、ボランティア団体による大きな復興イベント「LOVE FOR NIPPON」が行われたので見に行きました。ロックバンド、ポップス、マジック、大道芸など盛りだくさんで、中でも男女二人でパントマイムを演じる「シルヴプレ」は最高でした。今まで見たことのないパフォーマンスに魅せられ、すっかりファンになりました。

4月30日(月)～5月6日(日)、連休中は岩沼市も山元町もボランティアはありません。せっかくなので、蔵王をはじめ県内の各地を温泉に浸かりながら観光して回りました。連休は終わりましたが、戻っても次のボランティアの予定はありません。それで今度は北に向かうことにしました。

5月7日(月)、石巻の道の駅の「ふたごの湯」で朝から風呂に入り、午後、気仙沼に向かいました。途中岩井崎などで寄り道をして、4時ごろ気仙沼のボランティアセンターに行きました。まだ、ボランティア活動は続いていましたが週1回程度でした。まあ、それでもいいかと、申し込もうとしたら、地元の人で人数は足りていると言われました。残念な顔をしていたら、陸前高田ならまだ毎日やっているかもしれないと教えてもらいました。夜は気仙沼の市街地にある「はなの道パーキング」で泊りました。40台くらいの駐車スペースがあり、トイレも24時間使え、店舗のない道の駅といったところです。

5月8日(火)、一日、気仙沼の町を見て回りました。テレビでは何度も見ていたものの、打ち上げられた船が思っていた以上に大きいのに驚きました。しかも、そこは海岸から数百メートルは離れた、市街地のど真ん中です。津波のエネルギーの巨大さを痛感しました。港や近くの神社や寺を見て回り、昼食は復興マルシェで名物らしい「ハモニカ定食」(食べるとハモニカ状の骨が残る魚料理)を食べました。夕食は復興屋台村でラーメンを食べながら一杯やり、二杯やり、気持ちよくなったところでそのまま屋台村の駐車場で車に潜り込み、気が付けば朝になっていました。

(次号に続く)

---

(なかの あきら:愛知県岡崎市再任用職員。2012年3月に36年間勤めた岡崎市役所を定年退職、2013年4月より宮城県亘理町に派遣。現在、亘理町上下水道課で下水道事業に従事)